

平成 28 年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

(6月22～23日、京都市 京都東急ホテル)

近畿ブロックの老人クラブリーダーが一堂に会し、共通の課題意識を持ち、今後の方策を研究討議し、高齢者が「豊に潤いのある暮らし」と「安心・安全な地域社会」の実現を目指すと共に「100万人会員増強運動の達成」も喫緊の課題として位置づけ、やり遂げるための経験を交流し、老人クラブ活動の明日に結び付けることを目的として開催



基調報告 全老連谷野総務部長



第4分科会座長 県老連 三輪評議員
(香美町老連会長)



ミニコンサート



いきいきクラブ体操

第1日目

谷野 香・全老連総務部長による基調報告

熊本地震災害救援拠金についてのお願ひがあり、今の社会情勢や老人クラブとしての運動・行動提案等について報告。

○100万人会員増強運動の実施結果
平成26年度の状況では、目標達成県・市老連は、神戸市老連だけであったが、市区町村老連まで見ていくと298老連が成果をあげている。

○老人クラブ保険

会員からの声でつくられた保険であるので、ぜひ加入してほしい。

研究討議

「健康づくり・介護予防活動」と100万人会員増強運動の推進をテーマとした第1分科会では兵庫県老連の古家理事(市川町老連副会長)が、町老連での健康づくりや中播磨ブロックでのニュースポーツ講習会の事例について、ユーモアを交えて発表。

また、「100万人会員増強運動と組織強化」の推進をテーマとした第4分科会では、県老連の三輪評議員(香美町老連会長)が座長を務め、全体会で報告を行った。

第2日目

橋野 恵衣・京都市保健福祉局保健衛生推進室保険医療課歯科保健係長による講演

「お口からのぼそう！健康寿命～健康長寿のまち・京都～」と題して、食・口腔機能(栄養)を維持し、運動、社会参加につなげ、健康長寿を実現してほしいと訴えた。

全体会

各分科会での研究討議内容を座長が発表し、中保昌・近畿ブロック老連会長が講評。



近畿10府縣市老連より297名、
兵庫県老連より22名参加



第1分科会
事例発表者
兵庫県老連 古家理事
(市川町老連副会長)



講演



全体会